

石川県におけるズグロカモメの初越冬記録

大門久之*

〒926-0058 石川県七尾市湊町1丁目63-5

ズグロカモメ *Larus saundersi* は、中国北東部・モンゴルの内陸の湖沼で繁殖し、日本、中国南部、台湾で越冬する。総生息数は現在約5,000羽と推定され、国際自然保護連合(IUCN)では、絶滅危惧種(Endangered)、国内においても環境省のレッドリストでは絶滅危惧II類にランクされている。日本では九州を中心に1,000羽以上が確認されているが(武下ほか 1993, 武下 1996)、ほかの地域では少ない(高野 1982, 小林 1984, 武下 1996, 日本鳥学会 2000)。石川県でも数回の飛来記録はあるが、今まで越冬記録はなかった。2000年から2001年の冬に石川県においてズグロカモメ1羽の越冬が確認されたので報告する。

2000年12月17日、石川県羽咋郡志賀町上野の上野漁港周辺(37°00'N, 136°45'E)でズグロカモメ1羽が確認された。ズグロカモメはおもに漁港の北側で観察され、移動範囲は約2 km くらいであった。この個体は2月12日まで観察され、12月の3回の観察で3回、1月の4回の観察で4回、2月上旬は3回の観察で2回観察され、2月18日以降観察されなくなった。この個体は成鳥冬羽に似ていたが、雨覆・三列風切に褐色斑があり、飛翔時、雨覆部にV字帯が出て、翼後縁の次列風切先端に白色帯が、その内側には黒帯があり、尾羽にも黒帯が出て



図1. ズグロカモメ越冬個体
Fig. 1. A wintering Saunders's Gull.

2001年11月29日 受理

キーワード: ズグロカモメ, 越冬記録, 石川県

*日本野鳥の会石川支部

いたので(図1), 第一回冬羽と思われた(氏原・氏原 1992), 岩棚の上で休息し, 岩のあいだの潮だまりでおもにカニ(オサガニ類)などを採食していた。採食の方法は, 潮の引いた干潟の上を低空飛翔し, 獲物を発見すると急降下して, 採食するのが毎回観察され, 干潟に立って干潟表面をつついて採食する方法が9回の観察のうち3回で観察された。

ズグロカモメは1990年以降, 日本への飛来数が急増している。(武下ほか 1993, 武下 1996)。石川県では1987年以降, ズグロカモメの観察は6回におよぶが, 冬の記録は河北潟で1991年1月12日の1度のみで(武下 1996), あとは渡りの時期の記録である。今回, 越冬が確認されたが, ズグロカモメの定期的な越冬地の環境は, おもに干潟・河口・砂質の場所が多く(武下 1996), 今後, 同所での越冬の可能性は低いように思われる。

引用文献

- 小林桂助. 1984. 原色日本鳥類図鑑. 保育社, 大阪.
 日本鳥学会. 2000. 日本鳥類目録改訂第6版. 学研, 東京.
 高野伸二. 1982. フィールドガイド日本の野鳥. 日本野鳥の会, 東京.
 武下雅文. 1996. 日本におけるズグロカモメの生息記録. *Strix* 14: 182-185.
 武下雅文・佐本一雄・林修. 1993. 福岡県曾根干潟におけるズグロカモメの越冬数の年変化と季節変化. *Strix* 12: 107-114.
 氏原巨雄・氏原道昭. 1992. カモメ識別ガイド. pp. 29-30. 文一総合出版, 東京.

The first wintering record of a Saunders's Gull in Ishikawa Prefecture

Hisayuki Daimon

1-63-5 Minato town, Nanao city, Ishikawa 926-0058, Japan

A Saunders's Gull *Larus saundersi* was observed from December 17, 2000 to February 12, 2001 at the Uwano fishing port of Shika-cho, Hakui, Ishikawa, Japan. This is the first wintering record of the Saunders's Gull in Ishikawa Prefecture.

Key words: Ishikawa prefecture, *Larus saundersi*, Saunders's Gull, wintering record